

「[500人に聞く] 第12回
 “ケータイ世代とモバイルサービス”に関する調査」ダイジェスト
 10代が圧倒的！！
 月刊『アイ・エム・プレス』 Vol.154(3月号)誌上で公開！

株式会社アイ・エム・プレスは、月刊『アイ・エム・プレス』に連載中の「500人に聞く」シリーズ（調査主体：(株)アイ・エム・プレス 調査協力：(株)ゲイン）の第12回としてケータイ世代とモバイルサービスについて調査を行いました。本リリースでは、同調査結果のダイジェストをお送りします。

なお本調査は、2009年2月25日に弊社が発行いたしました、月刊『アイ・エム・プレス』Vol.154(3月号)に結果全文を掲載しております。月刊『アイ・エム・プレス』Vol.154の詳細は、
<http://www.im-press.jp/magazine/> から。

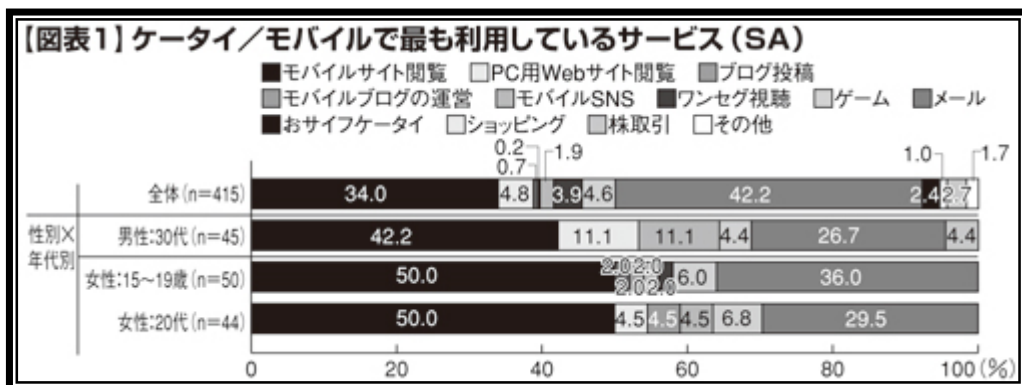
< 調査の概要 >

調査期間： 2009年1月13日～15日
 調査方法： インターネットリサーチ((株)ゲイン調べ)
 調査対象： 首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）、京阪神（兵庫県、大阪府、京都府）における
 15～69歳の男女
 サンプル数： 500

< 調査結果紹介 >

ケータイで利用されているサービスは「メール」と「モバイルサイト閲覧」が2強

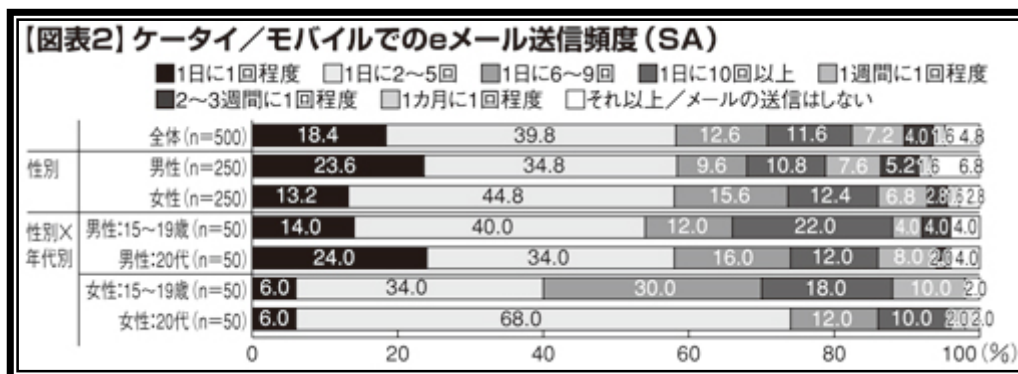
全体のうち、ケータイ/モバイルのポケット定額サービスを利用しているのは64.0%。性別・年代別に見ると、最もポケット定額サービスの利用率が高いのは15～19歳の女性で、86.0%に達している。続いて15～19歳の男性、および40代女性が同率で76.0%。1日のケータイ/モバイルによるネット接続時間を聞いたところ、意外なことに10分未満が最多で32.8%だった。



次に、ケータイ/モバイルで最も利用しているサービスを回答してもらった【図表1】。最も回答が多かったのは「メール」で42.2%。続いて「モバイルサイト閲覧」が34.0%となっており、上位2つの回答で全体の4分の3を超えている。性・年代別の特色としては、男性30代、女性15～19歳、女性20代で特に「モバイルサイト閲覧」が多い。これにより、音声による通話よりもコストが低いメールが利用されがちであること、ま

た世代によってはケータイをコミュニケーションのための機器という以上に、モバイルサイトを閲覧するための道具として利用していることがわかった。また、若年層を中心に高い利用率があると思われたゲームは、15～19歳男性で13.3%を記録したほかは、いずれも1割を超えない、おとなしい数字だった。

ケータイ世代のメール事情：15～19歳の5人に1人は「1日に10回以上」メールを送信



それでは、ケータイにおけるメールの送信頻度はどの程度だろうか【図表2】。全体で見ると、1日に複数回メールを送信する人は64.0%。「1日に1回程度」を加えると、実に8割強が毎日、何らかのメールを送信していることになる。

性・年代別に見ると、女性15～19歳および20代においては、1日に複数回のメール送信を行う傾向がある。20代になると複数回送信する割合は増えるが、平均の送信回数自体は減っているようだ。

同世代の男性の場合も1日に複数送信するユーザーが多いが、その中でも15～19歳男性の「1日に10回以上」という回答が目立つ（22.0%）。同世代の女性の場合（18.0%）と合わせて考えれば、15～19歳の実に2割が「1日に10回以上」メールを送信するヘビーユーザーであるということになる。

同調査のさらなる情報は以下のサイトへ！
500人に聞く・第1回～第11回バックナンバーも満載！
「アイ・エム・プレス」Webサイトはこちら！
<http://www.im-press.jp/index.html>

インターネットが企業と生活者、そして企業と企業をつなぐ時代。従来からの競合の概念は大きく変化し、顧客主導型経営の重要性が叫ばれています。月刊『アイ・エム・プレス』では、このような“変革の時代”に勝ち残るための顧客づくりのヒントを、年間定期購読システムによりお届けしております。

< 株式会社アイ・エム・プレス >

代表取締役社長： 西村道子 / 設立： 1989年10月19日

業務内容： 出版、セミナー企画、調査、編集

〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-6 聖台ビル5F

TEL：03-3815-8991 / FAX：03-3815-8957 / URL：http://www.im-press.jp/

< 本リリースに関する問い合わせ先 >

(株)アイ・エム・プレス 編集部 / 販売促進 までお気軽にお問い合わせください。

TEL / FAX / URL： 同上